

突哨山ガイドマップ 2019年版 修正ポイント

出席：出羽、寺島、黒川、塩田、澤田、事務局（山本牧、中村）

■主な改訂点

- 1, 写真の入れ替え（群落の消長の反映、季節の色、植物バリエーション）
- 2, 地図の補足
- 3, 発行年、版数、「もりねっと」連絡先などの変更
- 4, ヒグマ関連注意の追加

■表面

上右（表紙）：イラスト変更、第 10 版、写真彩度上げられないか

上中（交通図）：鬼斗牛山にかっこ書きで（三角山）を追加。地元通称
道路の追加（3 線と 4 線の 2 本・紫色）、
道道番号「37 号」と「近文 2 小」追加

奥付発行日など：2019 年 3 月 15 日発行（第 10 版）

（発行日は 3 月のどこかでお任せします）

「もりねっと」：電話 0166-60-2420 ファクス 0166-60-2421
〒070-8033 旭川市神居町雨紛 380—3

上左：クマの項目追加 「活動する市民団体」のタイトル外す

【追加】 ヒグマ注意 突哨山の公園内外でヒグマが確認されています。
入口の情報板に注意し、朝夕の入山は避け、なるべく複数で行動して下さい。糞
や足跡、目撃などの情報は旭川市環境部（0166-25-5350）か比布町にお寄
せください。

下右（保全と利用）：旭川市民や比布町民→市民

下中（自然）：生物相の数値確認中

下左（歴史）：変更なし

■裏面

全体地図：左上の「詳しくは表面の…」削除

右上、紙風船のところにバス停「基線 4 号」追加

「D」の位置を道の反対側に移す

3 沢に咲く花：写真 1 エンレイソウとニリンソウに変更

くぼ地や沢には湿り気を好む植物が育ちます。春も最後まで雪が残るので、カタクリなどが意外に遅くまで咲いています。

6D：針葉樹人工林と再生観察路 （タイトル修正）

トドマツやトウヒなど針葉樹が整然と並ぶのは人工林です。手入れが遅れ、混み合って下草も少ない単調な環境ですが、間伐によって林内を明るくし、時間をかけて本来の広葉樹林に戻る手助けをしています。「6」の天然林再生観察路では多種多様な広葉樹の若木が自生し始めています。 （130/136）

写真そのまま

8B 広葉樹林： 写真2に差し替え （秋の黄葉）

A 扇の沢 ：写真3 ザゼンソウに差し替え

昔の林道を市民有志が整備して復活しました。小さな流れのほとりにヤチダモやハルニシの大木が育ち、春はミズバショウが咲く、気持ちのいい水辺の道です。 （72/90）

9C 放牧跡地 写真4に差し替え エゾエンゴサク

尾根ぞいに開けた場所は、農家が牛や馬を放し飼いでいた放牧跡地です。今ではササに覆われ、シラカンバが生えています。「9」にはエゾエンゴサクの大群落があります。 （79/100）

10 木もれび分岐付近 写真5に変更

色が二語襟、表紙と似ているので道端らしいものに変更

F 大雪山遠望 澤田さん撮影の春の大雪山へ変更

以上